

緊急対応マニュアル

朝礼等にて情報の共有



- AED
1. 各チーム携帯状況の確認
 2. 会場内の設置位置の確認

- 雷情報
1. 気象予報
 2. 雷鳴を感知したときの対応確認
 3. 雷雲観測情報サイト <http://thunder.tepco.co.jp/>

- 熱中症
1. 気温や湿度により熱中症予防の注意喚起を行う。
 2. 救護体制（救護室・テント等の有無）を確認。



- 試合中
1. トスバッティングはヘルメット着用
 2. キャッチボールはチーム別に（交錯しない）
 3. ノック補助者はヘルメット着用
 4. ブルペン補助者はヘルメット着用し、打者に集中。
 5. ボールボーイは必ずヘルメット着用

その他、危険と判断されるものは、選手に対しチーム代表が指導する。

緊急搬送等の事故対応



会場の住所等を確認しておく。
役員間で救急車要請等の情報を共有する。
救急車進入経路の確認をする。
救急隊員に情報提供できるように準備を。
(氏名・生年月日・事故の状況・発生時刻等)
同乗者・後続車の確認とその人たちの連絡先の確認。
状況及び経過を大会本部に連絡すること。

○その他 救急箱・氷のうなどは必需品

会場責任者 _____
携帯番号 _____

..... 看護師・至近の救急病院なども、情報を得ておくこと。

緊急時対応の基本的な考え方

(1). 緊急事案 …

大会会場等において以下の緊急事案が発生した場合、現場において迅速に適切な対応を取るとともに、速やかに、会場責任者が大会本部へ報告する。

- ア. 災害(大雨、暴風、地震、落雷等)
- イ. 事故(交通事故等)等で傷病者が重篤な場合
- ウ. 以下の疾病等が発生し、医療機関等に搬送した場合
 - ・怪我
 - ・食中毒
 - ・熱中症
- エ. その他

※なお、医療機関等に搬送した場合は、速やかに大会本部に連絡する。

(2). 救護担当者の選任等

各大会会場に「救護担当者（通常は会場責任者）を選任する。なお、各大会会場にはAED（自動体外式除細動器）を設置する。またはAEDの設置場所を必ず確認しておく。

また、救急車の手配及び連絡について事前に調整を行うこととする。

(3). 参加者の安全確保及び被害の拡大防止 ……………

緊急事案が発生した場合、会場責任者は、その事案を勘案し110番又は119番通報し、大会参加者の安全確保を図るとともに、必要な措置を講じて被害の拡大防止に努める。

(4). 大会中止・中断等の協議 ……………

緊急事案が発生した場合、大会本部は、必要に応じて関係団体・機関も含め、大会の中止、一時中断、順延、入場者の制限、避難等について対応を協議する。

また、大会の開催に先立ち、中止、中断等の判断の手順及び決定者(会議等)を、予め決めておくこととする。

(5). 関係機関への報告 ……………

上記の事由により大会の中止・中断等の協議を行った場合、会場責任者は、大会本部及び関係機関に報告を行うこととする。（報道機関・協賛各社等、要確認）

(6). 最終判断者 ……………

大会全体に係る緊急時対応の最終的な判断については、大会会長が行うものとする。各大会会場における緊急対応の最終的な判断については、会場責任者が行うこととする。